

I 一般的注意事項

1. 開設授業科目の履修方法については、当該入学年度の『履修要覧』（別の冊子）を参照してください。
2. 開設授業科目に変更がある場合には、掲示、manaba、授業等で知らせます。

3. 授業時間

時限ごとの授業の開始・終了時刻は次のとおりです。（1時限：75分）

時限	授業時間	休憩時間
第1時限	8:40～9:55	9:55～10:10
2時限	10:10～11:25	11:25～12:15
3時限	12:15～13:30	13:30～13:45
4時限	13:45～15:00	15:00～15:15
5時限	15:15～16:30	16:30～16:45
6時限	16:45～18:00	

4. モジュールと授業期間

学期は、春学期と秋学期の2学期とし、春A、春B、春C、秋A、秋B、秋Cの6つのモジュールで構成されます。モジュールの組み合わせによって、下表のように多様な授業実施方法があります。

		Aモジュール	Bモジュール	Cモジュール
2025年度の授業期間	春学期	4月14日～5月22日	5月23日～7月3日	7月4日～8月8日
	秋学期	10月1日～11月10日	11月11日～12月26日	1月5日～2月16日
ABC(15週)		→		
AB(10週) C(5週)		→		→
A(5週) BC(10週)		→	→	

5. 開設授業科目一覧の見方

(例)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB10191	哲学	1	1.0	1	春AB	火6	筑波 太郎	哲学の基本的問題について考察する。	CDP 人文学類生に限る AC11999と同一。

記号や番号で開設組織、区分・分野等を表します。

授業方法が「講義」であることを表します。

科目の標準的な履修年次を表します。

「火曜日」の「6限目」に授業を行います。

「11」で説明する備考の定型のほか、科目の受講条件等様々な記述がありますので注意して下さい。

■ 定期的な曜時限を設けていない授業について

授業科目によっては、以下のように定期的な曜時限を設けていない授業があります。実施日程等の最新情報は、KdB（教育課程編成支援システム）や掲示等で確認してください。

- ・集中授業：曜時限が定期ではなく、ある程度集中した日程で行う授業形態です。
- ・随時：実験指導的な科目など、学生が長時間にわたり実験等に従事する中で必要な都度、教員と調整の上、指導を受ける授業形態です。
- ・応談：少人数のセミナー的な科目など、おおむね定期的に行われるが、教員の都合などで日時を変更することが少なからず生じるような授業形態です。
- ・NT：「NT」とは、「Non-timetabled attendance is possible」の略称です。開講曜時限は定めていないも

の、シラバスに示されている受講推奨曜時限を目安として、レポート提出期限等に注意しながら、計画的に履修するようにしてください。なお、NT科目の受講推奨曜時限と同一曜時限に開講される他の科目の履修が可能です。ただし、その場合は、提出課題等に無理がないか事前によく考えたうえで計画的な履修を心がけてください。

6. 科目番号

科目番号は、学群・学類等が開設する授業科目の区分、分野等を表す記号としての基準を定め、履修申請等の便宜を考慮し、開設授業科目ごとに付されています。履修申請は科目番号により行われます。

7. 授業方法

授業科目は、講義・演習・実験等で行っていますが、2つ以上の授業方法を併用する授業科目もあります。開設授業科目一覧においては各開設科目の授業方法を下記一覧のとおり表記しています。

記号	授業方法
1	講義
2	演習
3	実習・実験・実技
4	講義及び演習
5	講義及び実習・実験・実技

記号	授業方法
6	演習及び実習・実験・実技
7	講義、演習及び実習・実験・実技
8	卒業論文・卒業研究等
0	その他

8. 単位

単位とは、授業科目の修得に必要な学修量を計る基準となるものです。大学で開講している授業科目にはそれぞれ単位数が定められ、この単位を修得するためには、所定の時間を学修し、試験その他の方法により合格と判定されなければなりません。卒業の判定は、この単位数に基づき決定されます。

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容によって構成されています（日本の単位制度）。本学では、授業の方法、教育効果、授業時間外（自学自習）に必要な学修等を考慮して、授業時間を次の基準で計算しています。

1単位当たりの授業時間（※学生が1単位を修得するために、授業に出席し受講する事が必要な時間数です。）

授業の方法	授業時間	備考
講義・演習	15 (毎週 1.5 時間 × 10 週)	・外国語(英語、初修外国語及び日本語の一部)は、22.5 時間で 1 単位 ・医学群看護学類及び医療科学類開設の演習は、30 時間で1単位
実験・実習 実技	30 (毎週3時間 × 10 週)	・医学群看護学類開設の実験・実習は、45 時間で1単位 ・教育上特に必要と認められる場合は、45 時間で1単位

(本学は、1時限(75分)を1.5時間として計算しています。)

なお、卒業論文・卒業研究等の授業科目や芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、これらに必要な学修等を考慮して、各学群・学類において単位数を定めることとしています。

9. 標準履修年次

各授業科目には、教育上その科目の性格や教育内容を考慮し、効果的な学修ができるよう、標準履修年次を示して開講しています。原則としてその当該年次において履修してください。

10. 授業の受講について

① 授業実施方法について

筑波大学では、授業の実施形態を下記のとおり5つに分類しています。

各科目の授業実施方法は年度当初の計画を大学ホームページの開設授業科目一覧の備考欄に掲載しているほか、最新の情報はKdBの備考欄やシラバスに記載されます。また、Web掲示板(TWINS)にお知らせが出ることもあります。

科目の区分	授業実施方法の区分	説明
対面授業科目	① 対面	全時限対面授業により実施する授業科目
	② 対面 (オンライン併用型)	対面授業とオンライン授業の併用により実施し、対面の割合が半数以上の授業科目

オンライン 授業科目	③ オンライン (対面併用型)	対面授業とオンライン授業の併用により実施し、対面の割合が半数未満の授業科目
	④ オンライン (オンデマンド型)	全時限をオンライン授業により実施し、主としてオンデマンド型により実施する授業科目
	⑤ オンライン (同時双方向型)	全時限をオンライン授業により実施し、主として同時双方向型により実施する授業科目

② manaba について

manaba は、それぞれの授業ごとにウェブから利用できるコースページを作成し、教員と学生が教材を電子的に共有したり、課題の出題と提出を行ったりすることができる学習管理システムです。TWINS で履修登録が完了すると、翌日以降に履修科目のコースにアクセスすることができるようになります。オンライン授業の実施に際しては、教材の共有に加えて、科目の受講方法や講義、動画、課題の提出など、manaba が中核的な役割を果たすこととなります。(https://manaba.tsukuba.ac.jp)

③ オンライン授業に使用するソフトウェア・ハードウェアについて

本学学生はオンライン授業で用いられるグループウェアの Teams や、動画配信サービスの Stream を含む Microsoft 社が提供する様々なサービス群を利用することができます。また、オンライン授業を受講するためには、パーソナルコンピュータ、タブレット、スマートフォンなどの端末及び通信回線が必要です。その他、オンライン授業受講については「ICT ガイド」の「オンライン授業受講案内」を確認してください。(https://www.u.tsukuba.ac.jp/ict_guide/)

④ 授業で使用される資料等の取り扱いについて

授業で配布された資料や教材、講義動画や音声等を受講者が無断で複製・転載・転用してはいけません。

11. 備考

備考欄には、以下のような意味の略号・記述があります。

■ 専門導入科目(事前登録対象)

全学対象に開設される科目で、その専門分野の入口となる科目(専門基礎科目相当)として用意されています。異なる分野を目指す学生にも履修できるよう配慮はされていますが、前提となる知識を必要とする科目もありますので、シラバスや科目情報を確認したうえで履修してください。なお、**履修するには事前登録が必要です。**

■ 授業実施方法について

「10.授業の受講について」の「①授業実施方法について」を参照

■ G 科目

全学で育成するグローバル人材として修得すべき能力(① 外国語能力 ② 豊かな教養、国際理解 ③ コミュニケーション能力 ④ 多様性理解、活用力 ⑤ 学際的思考力 ⑥ アイデンティティと自信 ⑦ ポジティブな思考と実践力 ⑧ 自己表現力・専門力)の一部が身に付く科目で、全学学生向けに開設する科目を示しています。

■ CDP

専門教育を通してキャリア形成を考えるのに役に立つ内容を含んでいる科目であることを示しています。

■ 短期留学生

短期留学生(特別聴講学生)の履修可否を示しています。

■ ○○で授業

○○(言語)で行われる授業であることを示しています。

■ 0000000 と同一

0000000(科目番号)と同一科目であることを示しています。申請すべき科目番号は学生の所属により異なりますので、登録時に間違えないよう確認してください。

■ 実務経験教員

授業担当教員の中に実務経験のある教員を含む授業であることを示しています。

■ 男女別要素 (XX)

この表記のある科目は、以下のような男女別要素が含まれます。

男女別要素(ウェア):専用のウェアに着替えが必要な科目、男女でウェア等が違う科目であることを示しています。

男女別要素（用具）：用具が男女別の科目を示しています。

男女別要素（接触）：他の学生と身体的接触のある科目を示しています。

男女別要素（宿泊）：宿泊を伴う科目を示しています。

男女別要素（特別ルール・ペア/チーム分け）：男女別特別ルール・ペア/チーム分けがある科目などを示しています。

男女別要素（その他）：体力測定の基準値が違う、つくばマラソンのエントリーに性別の記載がある等、上記以外の男女別要素がある科目を示しています。